

豊島区の財政状況

昭和49年度予算の執行状況と昭和50年度予算の概要

豊島区公告第30号

昭和50年6月30日発行

発行 東京都豊島区

編集 企画部広報課

豊島区東池袋1-18-1

〒170 (981) 1111

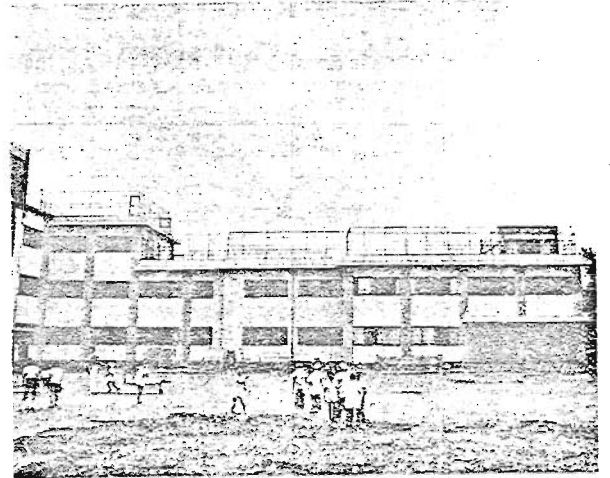
このお知らせは
 区民の皆様には区の財政状況を公表することにより、行財政の民主的運営を図るための一手段としております。今回は、昭和49年度予算の3月31日現在における執行状況と、昭和50年度予算の概要をお知らせいたします。

昭和49年度予算の執行状況

(1) 前回公表後の補正予算の概要

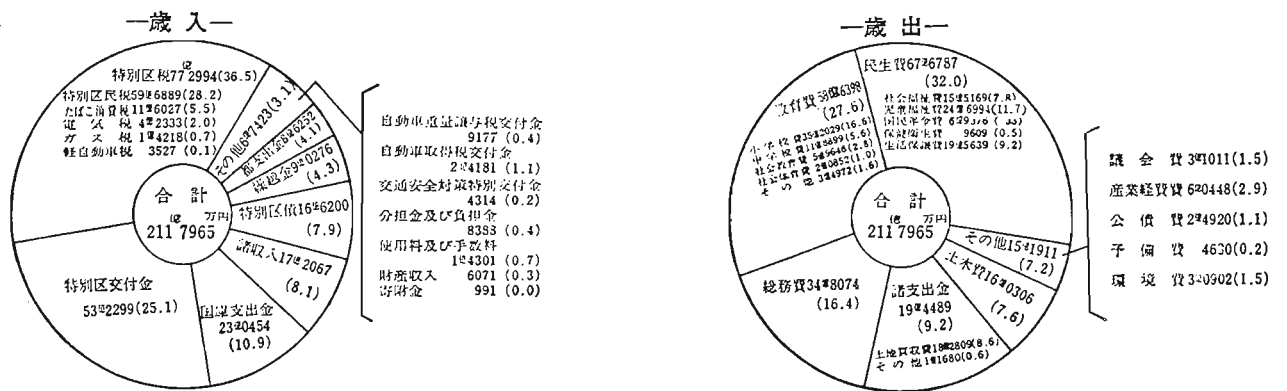
前回のお知らせ後、12月及び2月の定例区議会におきまして、補正予算が次のとおり議決されました。

区 分	補正予算額	議決年月日	補正予算のおもな内容
前回までの予算額	193,9907 ^{万円}	—	1. 給与改定等に伴う職員関係費
補正4号	8,0748	49.12.20	2. 区議会議員等の報酬改定に伴う関係費
補正5号	2031	49.12.20	3. 事務事業移管対策経費
補正6号	5780	50.3.14	4. 電気・ガス料金改定に伴う経費
補正7号	8,9499	50.3.14	5. 都知事選挙等執行準備経費
合計	211,7965 ^{万円}	—	6. 生活保護費追加額
			7. 商工業融資事業経費
			8. 学校給食援助経費
			9. 応急小口貸付経費



—改築された朝日小学校—

(2) 一般会計予算の規模および経費の目的別分類 (単位万円・()内は%)



※この予算額は、区民一人あたり70,180円となり、このうち特別区民税の負担額は19,778円です。

以上は一般会計分ですが、国民健康保険会計では、療養給付費保険者負担金等2億2953万円が追加補正され、予算総額が42億3211万円に、また公益質屋会計では、貸付金等611万円が追加補正され、予算総額が4852万円にそれぞれなっております。

(3) 収入、支出の現況 (昭50.3.31現在)

◆ 国民健康保険事業会計

◆ 一般会計

一歳入一

款 別	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率
特別区税	億 万円 77 2994	億 万円 72 3519	93.6 %
地方譲与税	9177	8961	97.6
自動車取得税交付金	2 4181	2 4324	100.6
特別区交付金	53 2299	49 5724	93.1
交通安全対策特別交付金	4314	4277	99.1
分担金及び負担金	8388	8617	102.7
使用料及び手数料	1 4301	1 3389	93.6
国庫支出金	23 0454	22 2442	96.5
都支出金	8 6252	7 6145	88.3
財産収入	6071	432	7.1
寄附金	991	999	100.9
諸収入	17 2067	12 1448	70.6
繰越金	9 0276	9 8266	108.9
特別区債	16 6200	7 2100	43.4
歳入合計	億 万円 211 7965	億 万円 157 0643	88.3

一歳出一

款 別	予 算 額	支 出 済 額	執 行 率
議会費	億 万円 3 1011	億 万円 3 0159	96.7 %
総務費	34 8074	30 6218	88.0
民生費	67 6787	59 2741	87.6
産業経済費	6 0448	5 7010	94.3
環境費	3 0902	2 2979	74.4
土木費	16 0306	12 4219	77.5
教育費	58 6398	42 1975	72.0
公債費	2 4920	2 3549	94.5
諸支出金	19 4489	16 0495	82.5
予備費	4630	-	-
歳出合計	億 万円 211 7965	億 万円 173 9345	82.1

◆ 公益質屋事業会計

一歳入一

款 別	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率
事業収入	万円 3917	万円 3324	84.9 %
繰入金	935	935	100.0
繰越金	0	171	-
歳入合計	万円 4852	万円 4430	91.3

一歳出一

款 別	予 算 額	支 出 済 額	執 行 率
総務費	万円 1304	万円 1161	89.0 %
事業費	3548	3148	88.7
予備費	0	0	-
歳出合計	万円 4852	万円 4309	88.8

一歳入一

款 別	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率
国民健康保険料	億 万円 6 3711	億 万円 5 9955	94.1 %
一部負担金	0	0	-
使用料及び手数料	1	1	100.0
国庫支出金	22 4628	22 1767	98.7
都支出金	12 9238	10 4332	80.7
繰越金	3985	3985	100.0
諸収入	1648	2439	148.0
歳入合計	億 万円 42 3211	億 万円 39 2479	92.7

一歳出一

款 別	予 算 額	支 出 済 額	執 行 率
総務費	億 万円 2 7610	億 万円 2 4150	87.5 %
保険給付費	38 2849	31 1668	81.4
保健施設費	193	138	71.4
諸支出金	2144	2144	100.0
予備費	1 0415	0	-
歳出合計	億 万円 42 3211	億 万円 33 8100	79.9

(4) 特別区債の現在高

学校、保育所そして公園などの施設は、長期にわたって利用されますので、これらの建設費は将来の納税者にも負担していただき、世代間の負担の公平をはかった方が適当な場合があります。このような経費にあてる財源として、特別区債を次のとおり発行しております。

発 行 目 的	件 数	49年度未現在高	借 入 先
体育館建設経費	4	億 万円 1 5031	政 府
公園用地買収経費	7	7 6850	市 中 銀 行
図書館建設経費	1	500	〃
保育所用地買収経費	1	420	〃
学校用地買収経費	6	7 6510	〃
校舎改築経費	1	1380	政 府
老人福祉センター建設経費	1	1457	〃
教育施設用地買収経費	1	10 8400	市 中 銀 行
老人いこい宅等建設用地買収経費	2	3 6100	〃
合 計	24	億 万円 31 6648	

(5) 一時借入金の現在高

昭和49年度の財政運営は、収支の均衡がとれ、銀行等からの一時借入金はありません。

(6) おもな事業の実施状況

● 中小商工業融資

中小商工業に対し、延500件 10億1296万円を融資しました。

● 生業資金の貸付

一般金融機関から融資を受けることの困難な区民に対し、生業資金として、延129人に5420万円を貸付けました。

●老人就労対策

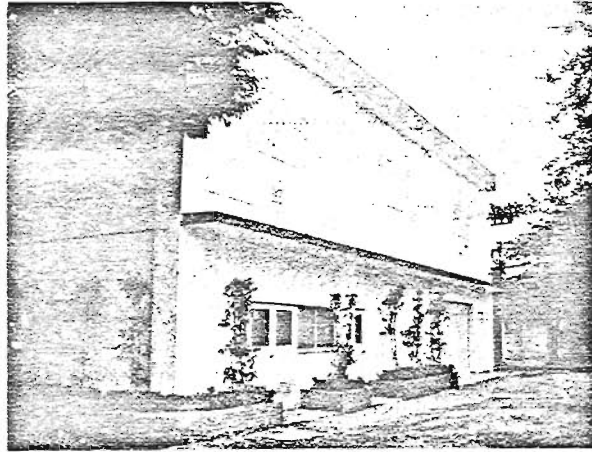
老人の就労促進を図るため、公園指導員および保育所作業員をあわせて27名採用しました。

●高齢者国民年金保険料の特別貸付

豊島区独自の事業とし、高齢任意加入者に対して、保険料の納付に必要な資金を、延306人に1259万円を貸付けました。

●老人福祉電話設置

一人くらしの老人家庭に、40台の電話を設置し、基本通話料等を助成していただきます。前年度の設置とあわせ78台になりました。



—完成した備蓄倉庫—

●緑陰道路、植樹帯の設置

巣鴨地区ほか2個所の延長837mにそめいよしの桜104本を植樹し、緑陰道路として整備しました。また植樹帯として西池袋地区ほか4個所延881mにつつじ13,320株を植樹しました。

●児童遊園の新設

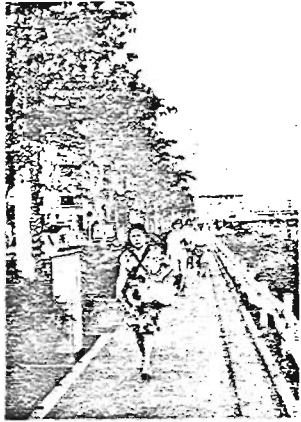
巣鴨一丁目地区ほか1個所に新設しました。

●備蓄倉庫の建設・防災訓練の実施

大震災時に必要な物資を格納する備蓄倉庫を、要町地区、西池袋地区の2個所に建設しました。また昨年8月31日に駒込都電車庫跡地においておこなわれた防災訓練には、多数の機関および1,600名の方が参加しました。

●南大塚都営住宅併合施設のオープン

昭和46年より建設をすすめてきましたが、このたび、第12出張所等7施設がオープンしました。



—新設の緑陰道路—

(7) 区有財産の状況

区がいろいろな仕事をおこなうために使用する財産や、区民のみなさんの利用に供される財産は下図のとおりです。

区民1人あたり 94,741円	土地	建物	工作物	物品	有価証券
合計 285億9183万円	509,518㎡ 134億4763万円	289,141㎡ 116億3581万円	1,790件 11億7006万円	89,117件 23億2310万円	473件 1523万円

昭和50年度予算の概要

(1) 予算編成の方針

新聞、テレビの報道で、すでにご存知のことと思いますが、東京都の財政はひっ迫した状況にあります。

この都と各特別区とは、都区財政調整制度というしくみのなかで、都財政の影響を直接受けますので、本区の財政も近來になく、きわめてきびしい情勢下におかれています。

くわえて、多種にわたる住民要望が高まるなかで、50年度都から保健所を始めとする各種の事務事業が移管されましたので、財政需要は非常に増高するわけですが、これに見合う財源の見通しは、良好とはいえません。

こういう状況をふまえ、今後、都に対する財源拡充の要求をさらにすすめるとともに、福祉、インフレ・不況対策、児童、防災、そして区民サービスの施策に重点をおき、また、投資的経費においては、保育所建設等緊急度の高い事業および木造校舎改築の残事業等のみを中心に、地道で実効性の高い予算編成をしました。

(2) 今年度の重点目標

◆恵まれない人びとの福祉向上を図る

難病患者福祉手当制度の創設	790万円
原爆被爆者の授養	107万円
ろうあ者宅におしらせ灯の備え付け	101万円
心身障害者ボランティアの手話講習	43万円
「さくらの家」改築用地の取得	2億2500万円
寝たきり老人の理髪サービス	167万円
ひとり暮らし老人の慰安旅行	84万円
ひとり暮らし老人の自宅電話通話料の助成	100万円
寝たきりひとり暮らし老人の実態調査	317万円
寝たきりひとり暮らし老人の居宅火災予防設備	609万円
老人就労対策	2651万円

◆インフレと不況から区民の生活を守る

生鮮食料品の安売りデー実施	339万円
中小商工業融資の充実	5億5474万円
商店街の経営診断	200万円
生業資金貸付制度の拡充	7000万円
学校給食の援助	3283万円

◆児童の健全育成をすすめる

愛育手当制度の創設	1283万円
私立保育所の助成	2408万円
私立幼稚園児の保護者補助	1億5629万円
児童育成室の増設等	1185万円
保育所の新設	2億9116万円
児童館の新設	1億330万円
児童遊園の新設, 遊具の特別安全点検	988万円
スクールゾーンのカラー舗装	30万円

◆地震等災害対策を強化する

三角バケツの家庭配布	6080万円
地域防災組織の育成	1221万円
簡蓋倉庫の新設, 備蓄物資の充実	6649万円
消防水利の新設	2000万円

◆区民への情報提供と行政サービスを拡充する

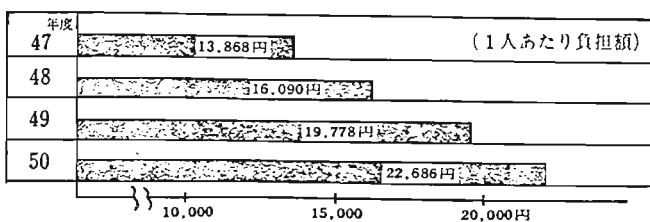
「広報としま」「声の広報」の月2回発行	4066万円
広報スタンド, モデル掲示板の設置	573万円
委託窓口の開設	23万円
印鑑証明間接方式の導入	3328万円
出張所改築と区民集會室新設	7639万円

(3) 性質別歳出予算額 (一般会計)

性質別	年度	50年度予算	構成比	伸率	49年度予算	構成比
義務的経費		129,231,172	61.9%	32.3%	97,670,474	57.8%
人件費		82,538,2	39.6%	33.7%	61,727,9	36.6%
扶助費		39,489,2	18.9%	35.6%	29,119,5	17.2%
公債費		7,203,7	3.6%	5.6%	6,823,0	4.0%
投資的経費		28,349,0	13.5%	△1.6%	28,801,0	17.1%
普通建設事業費		27,734,9	13.3%	△2.3%	28,380,1	16.8%
失業対策事業費		614,1	0.3%	45.9%	420,9	0.3%
その他の経費		51,089,5	24.5%	20.5%	42,394,4	25.1%
物件費		34,252,8	16.4%	17.9%	29,046,4	17.2%
維持補修費		2,274,0	1.1%	△6.2%	2,424,7	1.4%
補助費等		8,503,8	4.1%	35.4%	6,278,5	3.7%
その他		6,058,9	2.9%	30.4%	4,644,8	2.8%
繰出金		1,012	0.0%	3.6%	977	0.0%
貸付金		5,957,7	2.9%	29.7%	4,547,1	2.8%
予算額合計		208,669,6	100.0%	23.6%	168,865,8	100.0%

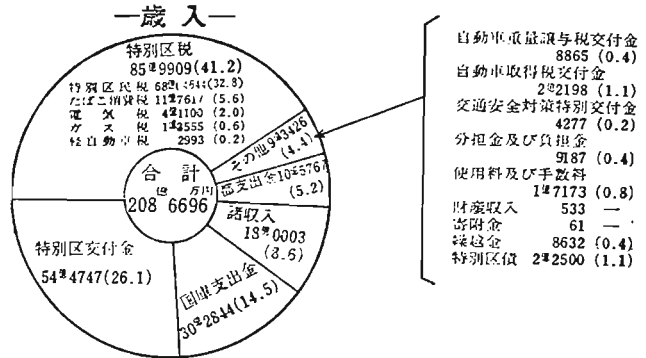
(補正1号を含む)

(4) 住民税の負担状況

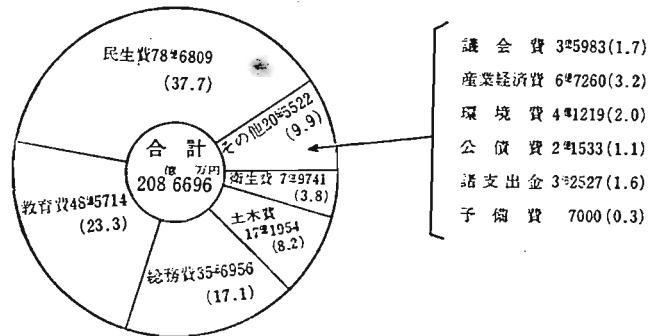


(5) 各会計予算の規模および経費の目的別分類 (単位万円・()内は%)

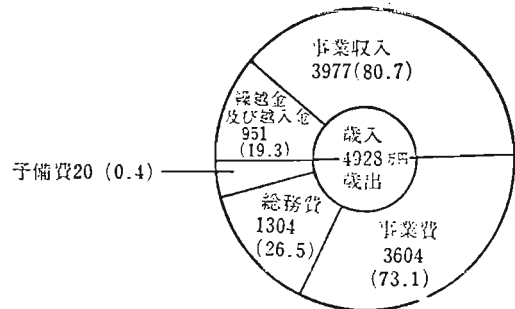
◇ 一般会計



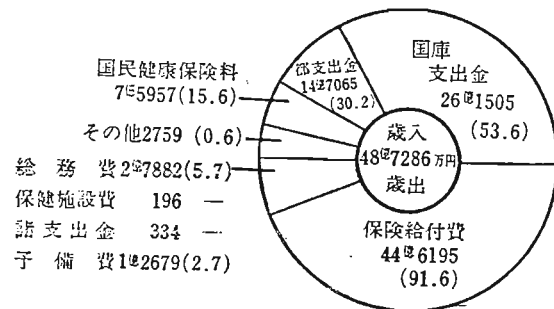
一歳出



◇ 公益質屋事業会計



◇ 国民健康保険事業会計



以上が区の財政状況のあらましです。地方財政の危機を問われている今、地方自治とはなにかを、あらためて考えなおす機会ではないかと思ひます。そのための資料の一端となれば幸いです。このほか、知りたいことや疑問の点がありましたらお気軽におたずね下さい。財務課財政係 内線 2262